

理想の部屋のデザイン「自分で実行」説明プリント

年 組 番 (氏名)

プリントは、このプリントと1～6のプリントで7枚。・一回目の授業時配布プリント（空間をデザインする「私の部屋」一点透視図法）も1枚追加で計8枚あります。

*プリント3（作図練習）を完成します。（自分の力の限界まで努力）

・プリント4は、プリント3（作図練習）の解答です。見やすくするために面を塗りつぶしてあります。*みなさんは、面を塗らないで（線のみで）提出すること。

*プリント6（私の理想の部屋のアイデア）を完成します。

プリント1は、一点透視図法による描き方の手順を示しています。

（完璧にできるようになるまでは（1）～（6）の順番を守って作図をしてください。途中でわからなくなるといいます。その時は、今どこの手順までできているのか確認して、次の手順から実施してください。あきらめないでください。自分の力を信じて。

・各手順の説明

（1）プリント3（作図練習）では、「底面積」は、ほとんど記入しています。（記入する必要なし）*ベットは、基本の簡易ベットを完成させ、後で、ヘッドボードの底面積を記入してヘッドボードを追加して完成させます。

（2）プリント3の真ん中にある V.P.（消失点）〈+の真ん中が点〉に正確にシャープペンシルの先を合わせて、底面積の四角形の角のそれぞれの点を正確に通るように必ず定規をあてる。消失点から角の点に向かって線を引く。（基本的には、4本引きます。角の点より長く延長させて線を引くことが重要です。）*正確に点と点を通して作図しないと、後でずれて合わなくなります。

（3）プリント3に記入してあるそれぞれの家具の近くにある（点・）が家具の高さを示しています。高さの線は、床の線と平行になるように正しく定規で描いてください。*定規の質によって作業のしやすさが変わります。たて、よこの線が直角に入っている定規がおすすめです。（線がないタイプの定規は、自分の目で平行を確認する必要があるのが難しいです。）

（4）上の部分の形を正確に定規で描きます。その際、平行と直角を意識して正確に描いてください。*大事なことは、上の形は、底面積と同じ形のひとまわりやふたまわり大きな四角形になることです。（まだ習っていないと思いますが、相似の図形です。）

（5）上から見たとき、家具の見える側面（1～2つ）と見えない側面を自分で考えて、見える面を定規で描きます。*大事なことは、家具の縦の線は必ず V.P.（消失点）とつながるということ。家具の横の線は底面積の四角形の一つの辺と平行に描くということです。

（6）細部を描く（棚や引き出し等）時も同じルールで描いてください。一つ一つの引き出しの高さは下の方の幅を気持ち狭くする程度でだいたい同じ幅で描いてください。*大事なことは、家具の縦の線は必ず V.P.（消失点）とつながるということ。家具の横の線は底面積の四角形の一つの辺と平行に描くということです。

プリントの補足説明

・プリント2は、プリント3（作図練習）のための家具等の形と描く練習の手順（1）～（3）が描いています。*記号のついてない基本の簡易ベットは（右上）基本の箱椅子は（左下）の四角形に描きます。

・プリント3（作図練習）*右横と下にあるめもりは家具等の高さ（cm）をしめす線です。

・プリント5は、基本の箱椅子の描き方をできる限りわかりやすく作成したものです。（他の家具の外形を描く時にも応用できます。）使ってください。

・プリント6（私の理想の部屋のアイデア）6畳の広さの部屋に家具等の床面積を考えて配置図（レイアウト）を考えて、定規や必要に応じてコンパスを使って描いてください。*（参考作品）生徒会誌「柏丘」第58号カラーページ